

在希達方よりそのに之を託の意志は充分了解せる所なれば更らに  
 一向の協議せんことを約し退きせり此の翌日或は不日午前九時前迄  
 七知と申す並に林山葉、小竹三氏と申見たりしが今回は改め  
 て職工一同の代表者佐藤兼太郎、松下善代司、此日寅造加茂  
 亮雄、松井春吉、河部清七、近藤賢明七知連署の勸願書と  
 なし且つ労働組合とは全無関係に之を具に鎌倉分社職工  
 一同の希望なりとの言明ありしかば善人で披見せるに其末文  
 の如きも回答期目の記載を前日申の希望せしか如き形或  
 とし極めて懇切に書き留められたるに拘はらず代表者中の一人  
 加茂亮雄氏はこれに對する回答を当日中に要求せるを以て聊  
 か意外の感ありしか協議の上書更復改回答すべきことを約し別  
 れ在り時に午前十時五分なりき此に於て時々五分に多り従事

員、殆んど全部の希望を自らの事務所を前に集會し情況を整理  
 に代表の七氏来りて回答を要せりされど一面感嘆の形勢を承レハ  
 他種極端なりと稱する數願書の回答を促すは其の精神に於て当初  
 組合の力を籍りたる時と何れ異なるを承レハ初シテ念記並兼並の大部分が  
 希望極健なる事は申の事素より熟知する所なるにも相違なく若  
 干の端初者ありて強引に平地に波瀾を起さんとすは遺憾に堪へ  
 ざるを察せられたる勢の赴く儘如何と考ふる能はず是は最初より  
 誠意を以て然始一貫平等深を踐り希望協調の精神に則り  
 可成其要に於ては人として念とせしに先ずは願望を遂げし  
 御萬能の目的を達せんとして不成就の程度の下に回答を求めんとす  
 るに於ては最早疎清り懸念せりと認め代表者に對し從來の所  
 在漸し併せて多致極健希望室なる從業員に累々及南すことの